

台東区在宅療養支援窓口通信

令和2年1月号 No. 4

○在宅療養支援窓口の相談事例紹介

<相談内容>



家族

夫がかかりつけ医より、「がん」と診断されてから、自分の部屋に閉じこもることが多く会話も少なくなった。また、かかりつけ医より専門病院を紹介されたが夫は受診を拒んでいる。どのように対応したらいいかわからなく、困っている。

<支援内容>

相談者：家族（妻）

（面談での対応）

夫が病気を一人で抱えていたことを受け、夫の病状や気持ちを一緒に考え、夫への接し方について助言した。また、かかりつけ医より専門病院を紹介されたが、紹介状を受け1ヶ月以上が経過し、他の症状が出ているとのことなので、一度かかりつけ医へ相談するよう提案し、かかりつけ医と家族との連携・調整の対応をした。その後も専門病院への受診が難しい場合は、ご本人との訪問面談も可能であることを提案した。

（対応結果）

かかりつけ医との連携によりスムーズな受診につながった。家族は医師より夫の病状の説明を受け、事の重大さや専門病院による早期受診の必要性を認識した。家族は支援窓口からの助言を基に夫へ接することで、夫は病気に対して前向きになり、支援窓口への相談から1週間後には専門病院への受診に繋がった。

<相談者の反応>

夫の病気に対する思いを理解することで、家族間での互いを思いやる気持ちが芽生え、家族関係が良好になった。また、家族が受診に同行することにより、夫がひとりで抱えていた病気に対する恐怖感が和らぎ、治療を受けるきっかけとなったことに家族は安心した様子であった。

ケースを振り返って

このケースは、「がん」の告知をひとりで受け、病気を抱え込むことにより、家族とのコミュニケーションエラーが生じている家族への支援であった。家族支援については、支えられる側・支える側の思いや言葉の意味を理解・分析し、医療面・福祉面・心理面などあらゆることを総合的にアセスメントしながら、本人・家族に合った言葉の選択や個別性を捉えた支援が重要であると改めて感じた。また、知人から紹介されて窓口を知ったとのことなので、より一層、区民向けの周知活動をしていきたい。

在宅療養支援窓口では、在宅療養生活における医療面に関する様々な相談をお受けしています。

ケアマネジャーに対して、医療的課題に関するマネジメントや医療関係者との連携についてのサポートも行っておりますので、是非窓口へご相談ください！



台東区在宅療養支援窓口 電話：5603-0235

受付時間：月～金曜 9時～17時、土曜9時～12時